

メトピロンカプセル 250mg

【この薬は？】

販売名	メトピロンカプセル 250mg METOPIRON CAPSULES 250 mg
一般名	メチラポン Metyrapon
含有量 (1カプセル中)	250mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、下垂体 ACTH 分泌機能検査用薬・副腎皮質ホルモン合成阻害剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、副腎組織（皮質）から過剰に産生されるステロイドホルモンを抑える作用があります。下垂体 ACTH 分泌予備能の測定や、ステロイドホルモンの過剰分泌によって起こるクッシング症候群の治療に使われます。
- ・次の病気の人に処方されます。

下垂体 ACTH 分泌予備能の測定

クッシング症候群

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断し、服用を中止したり、量を加減したりすると、病気が悪化することがあります。
指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません
 - ・過去にメトピロンカプセルに含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
 - ・副腎皮質機能不全の人
- 次の人は、特に注意が必要です。服用し始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・リウマチ性疾患のある人
 - ・妊婦又は妊娠している可能性のある人
 - ・授乳中の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
クッシング症候群の患者さんでは、通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

一回量	250mg～1g
飲む回数	1日1～4回

その他、下垂体 ACTH 分泌機能検査の場合、飲む量が異なります。医師の指示に従ってください。

●どのように飲むか？

コップ一杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついたときに、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

消化器系症状（腹部不快感、吐き気、嘔吐、食欲不振、下痢、腹痛）と急性副腎不全（血圧が低い、食欲不振、体がだるい、吐き気、嘔吐（おうと）、腹痛、発熱、意識の低下、手足のふるえ）の徴候があらわれることがあります。

インスリンまたは経口糖尿病用剤で治療中の人は、この薬による急性中毒の兆しがあらわれたり、症状が悪化または変化することがあります。

これらの症状があらわれた場合には、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の服用により、急性副腎不全があらわれるおそれがあるため、検査が行われることがあります。血圧が低い、食欲不振、体がだるい、吐き気、嘔

吐（おうと）、腹痛、発熱、意識の低下、手足のふるえなどの症状があらわれた場合には、ただちに医師に連絡してください。

- ・めまい、眠気などがあらわれることがあるので、自動車の運転など、危険を伴う機械の操作をするときには注意してください。
- ・汎血球減少（血液を構成する成分の減少）、白血球減少、血小板減少、貧血などの骨髄抑制（発熱、寒気、喉の痛み、鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい、頭が重い、動悸（どうき）、息切れ）があらわれることがあるので、血液検査が行われることがあります。このような症状があらわれた場合には、ただちに医師に連絡してください。
- ・クッシング症候群の人は、この薬の服用による高コルチゾール血症の改善により、ニューモシスチス肺炎（発熱、咳、痰、息切れ、息苦しい）などの日和見感染があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合には、ただちに医師に連絡してください。
- ・クッシング症候群の人は、血中のコルチコステロイドの測定が行われることがあります。
- ・クッシング症候群の人は、QT延長（心電図の異常：めまい、動悸（どうき）、気を失う）があらわれることがあるため、必要に応じて心電図検査が行われます。これらの症状があらわれた場合には、ただちに医師に連絡してください。
- ・クッシング症候群の人は、低カリウム血症（体に力が入らない、体が動かせない、息苦しい、お腹が張る）があらわれることがあるため、血中カリウム値などの検査が行われることがあります。これらの症状があらわれた場合には、ただちに医師に連絡してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳中の人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を服用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。


重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失（しょうしつ）
急性副腎不全 きゅうせいふくじんふぜん	血圧が低い、食欲不振、体がだるい、吐き気、嘔吐（おうと）、腹痛、発熱、意識の低下、手足のふるえ
骨髄抑制 こつずいよくせい	発熱、寒気、喉の痛み、鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい、頭が重い、動悸（どうき）、息切れ

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。

これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、発熱、寒気、出血が止まりにくい、体がだるい
頭部	めまい、意識の消失（しょうじつ）、頭が重い、意識の低下
顔面	顔面蒼白（そうはく）、鼻血
口や喉	喉の痛み、歯ぐきからの出血、吐き気、嘔吐（おうと）
胸部	動悸（どうき）、息切れ
腹部	食欲不振、腹痛
手・足	手足が冷たくなる、手足のふるえ
皮膚	あおあざができる
その他	血圧が低い

【この薬の形は？】

販売名	メトピロンカプセル 250 mg
形状	軟カプセル剤 
長径	18.3mm
短径	7.6mm
重さ	770mg
色	微帯黄白色～淡黄色
識別コード	CG501

【この薬に含まれているのは？】

販売名	メトピロンカプセル 250 mg
有効成分	メチラポン
添加剤	内容物： グリセリン、マクロゴール 4000、マクロゴール 400 カプセル本体： ゼラチン、パラオキシ安息香酸エチル、パラオキシ安息香酸プロピル、グリセリン、酸化チタン、香料、エチルバニリン含有

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
製造販売：セオリアファーマ株式会社 (<http://www.ceolia.co.jp/>)
メディカルインフォメーション室
電話：0120-72-1136
受付時間：9:00～17:00（土日祝日、弊社休日を除く）